

〔平成 25 年実施〕

公共施設のあり方に関するアンケート 単純集計結果

アンケート実施概要

目的：三芳町の公共施設の更新についての考えを把握し、基本計画策定の資料とする。

対象：三芳町在住の 13 歳以上の男女

標本数：800

抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法

調査方法：郵送法（郵送配布－郵送回収）

調査時期：平成 25 年 11 月 15 日～11 月 25 日

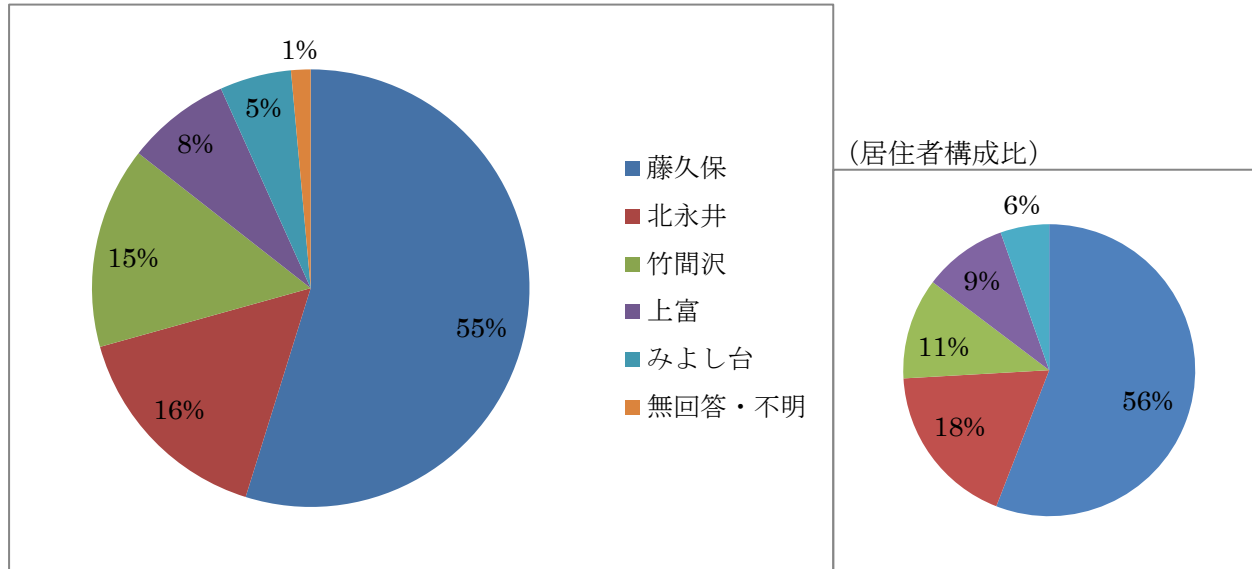
※本結果については 28 日役場着分までを集計している

回収結果

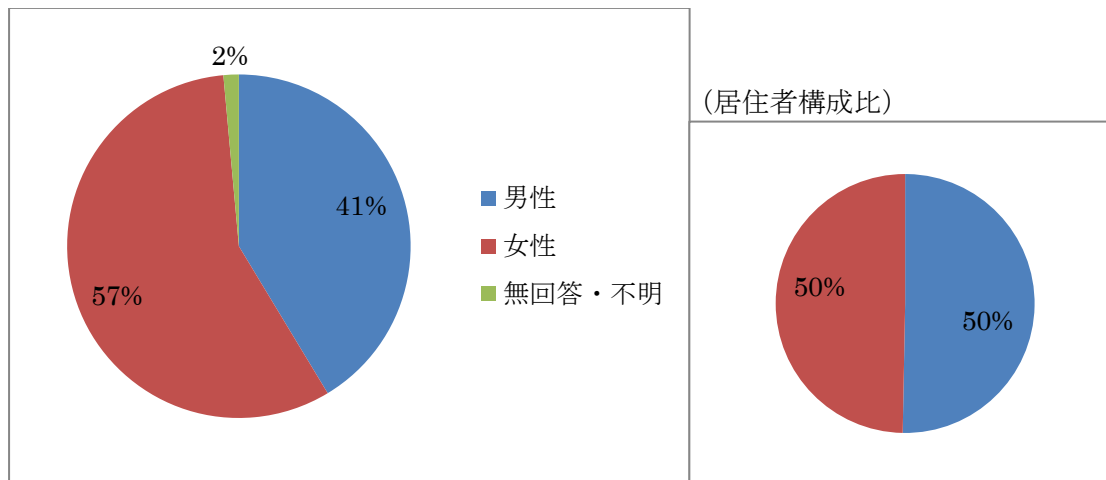
有効回収数（率）：208（26%）

回答者構成

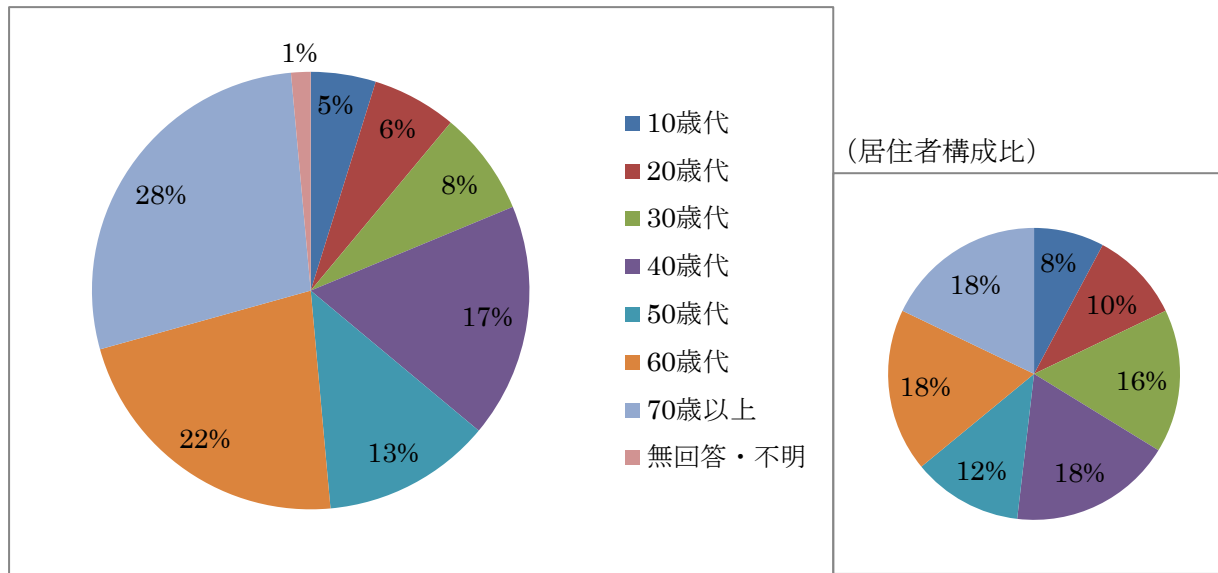
(1) 地域別



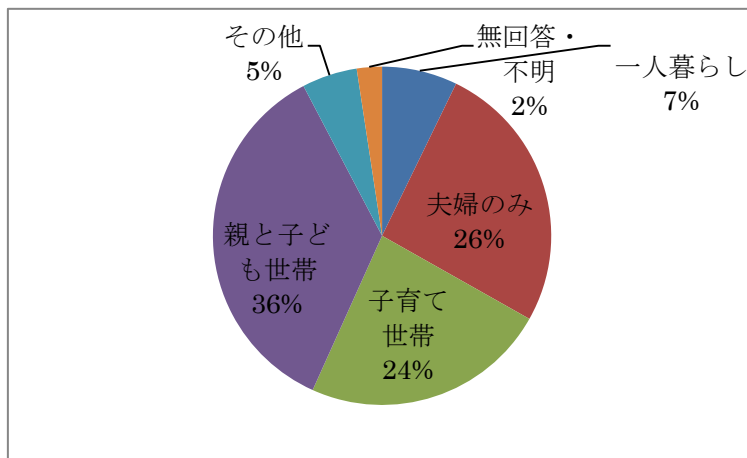
(2) 性別



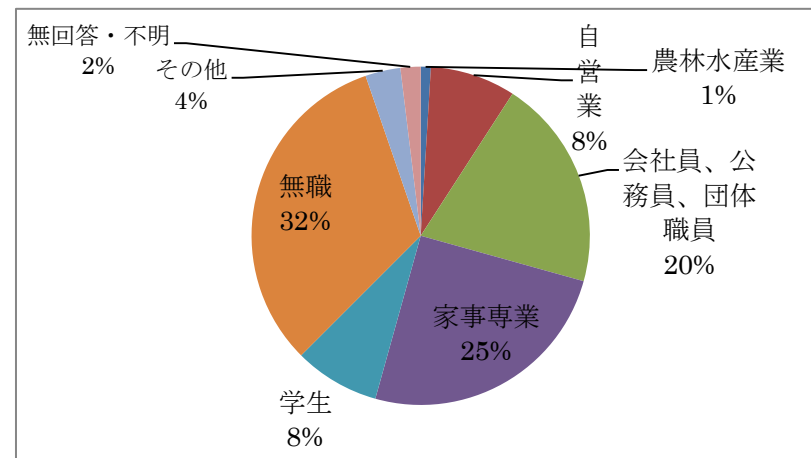
(3) 年代別



(4) 世帯構成別

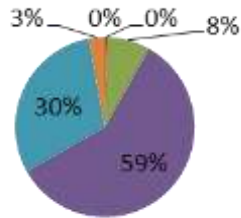


(5) 職業別

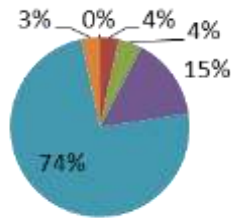


施設の利用頻度

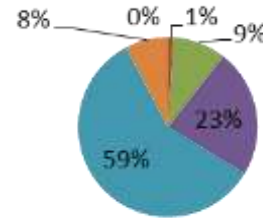
(1) 本庁舎



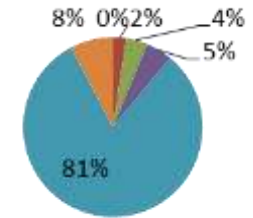
(2) 体育施設



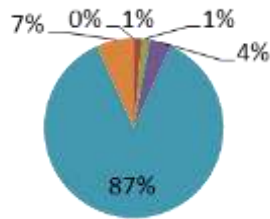
(3) 集会所・農業センター



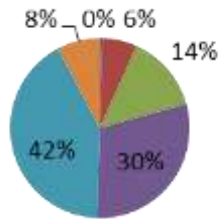
(4) 児童館



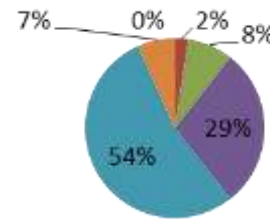
(5) 老人福祉センター



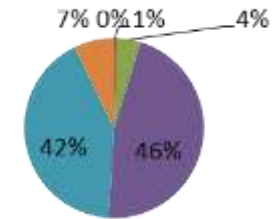
(6) 図書館



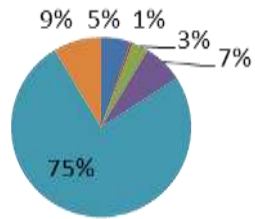
(7) 公民館



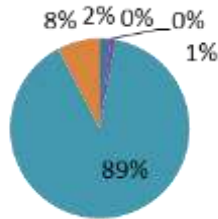
(8) 出張所



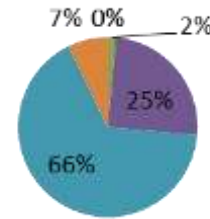
(9) 学校施設



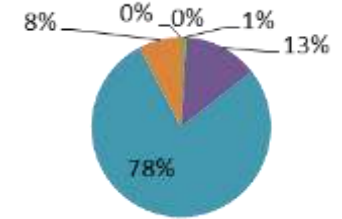
(10) 保育所・学童保育室



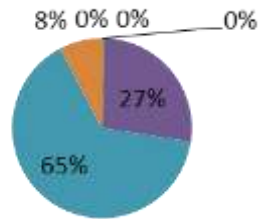
(11) 文化会館



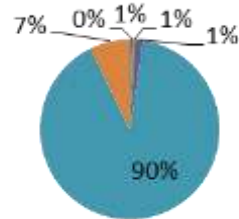
(12) 歴史民俗資料館



(13) 保健センター

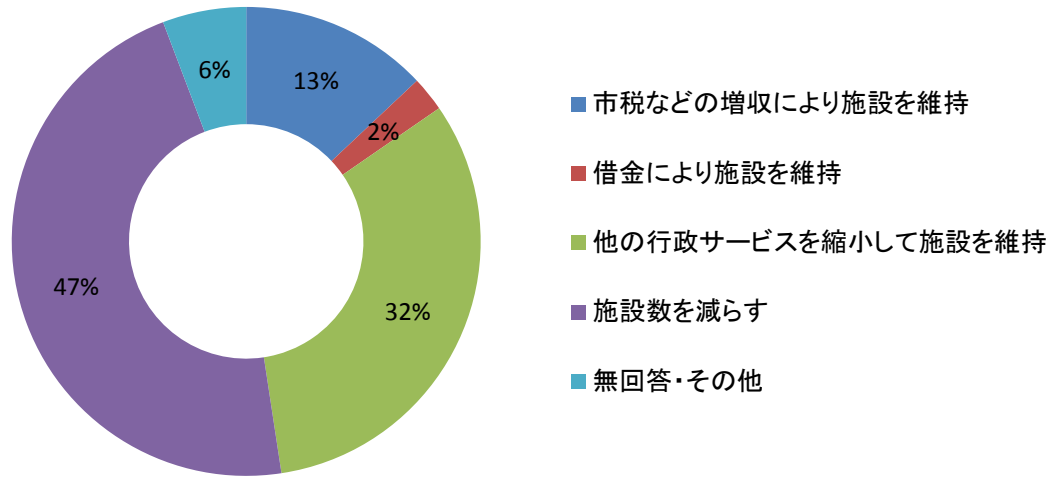


(14) 太陽の家・精神障害者支援センター

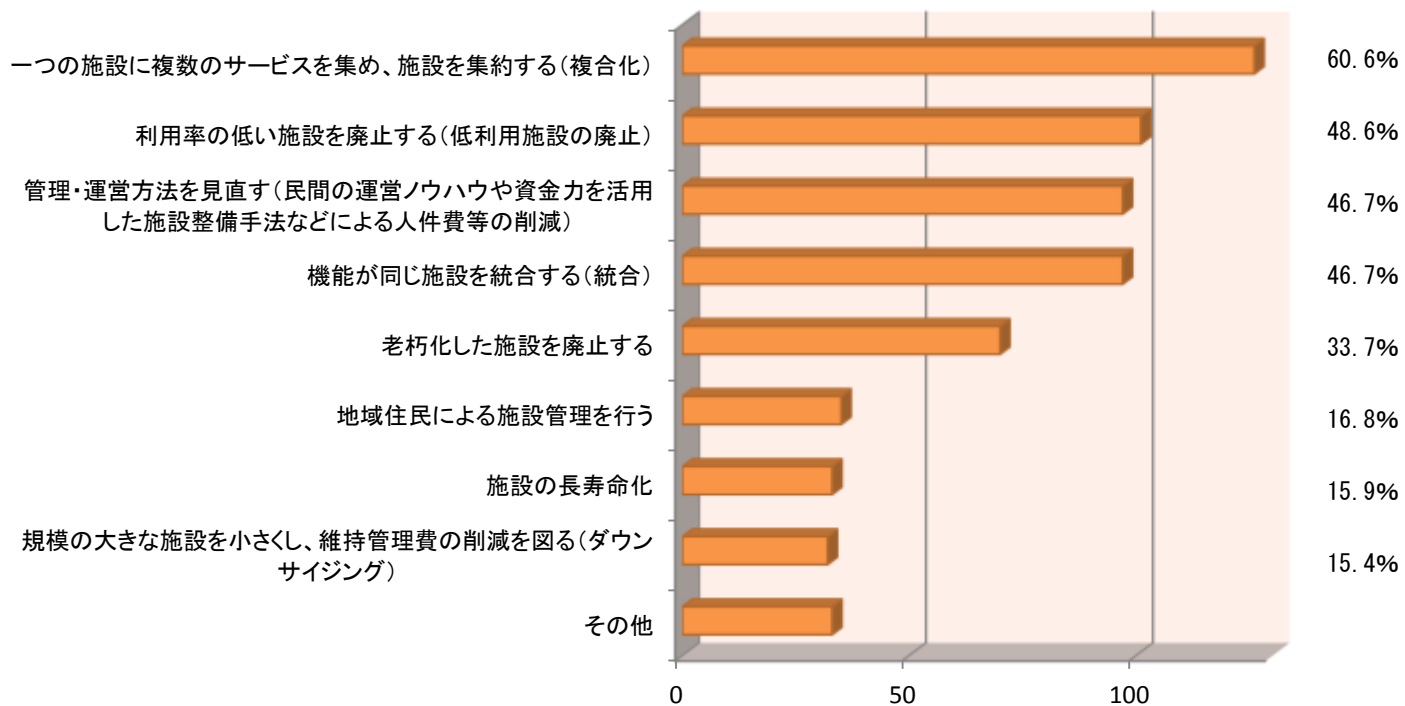


公共施設への意識

Q. 整備・管理運営についての意向



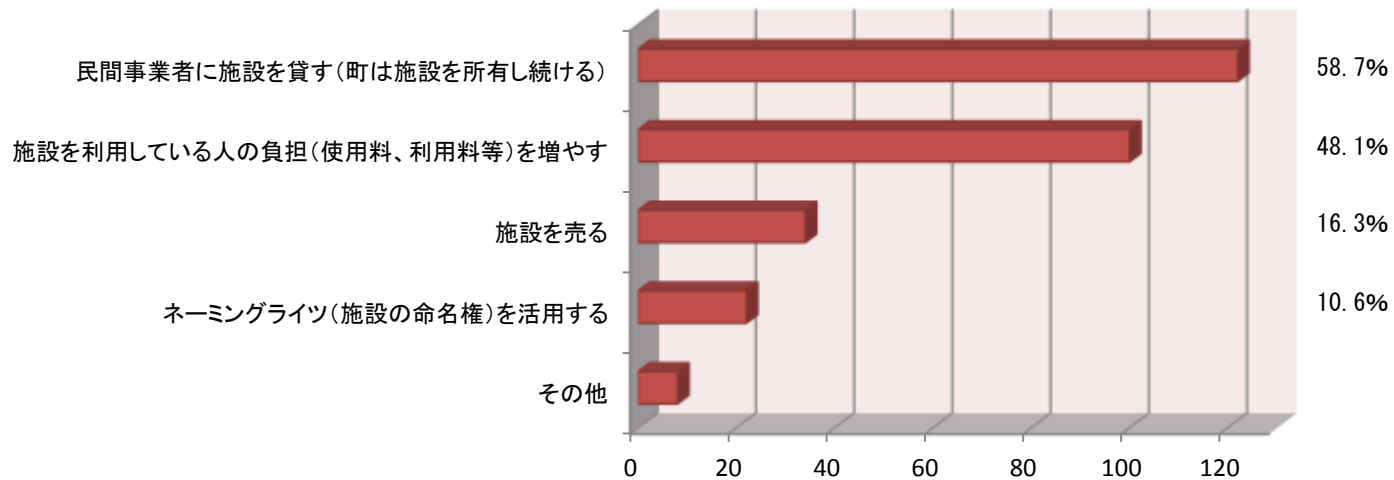
Q. 施設にかかる費用を抑え、安全に維持するために必要だと思う手法



【その他】

- ・高齢化社会に伴う施設の増設を期待する。(70代・男・竹間沢)
- ・利用者人数にもよる。(70代・女・藤久保)
- ・複合化や統合によって人件費も減額される。(70代・男・竹間沢)
- ・公務員の目線による見直しなら無意味。(40代・男・北永井)
- ・利用の少ないものは廃止、多いものは建替え。(20代・女・竹間沢)

Q. 施設に関わる歳入確保に必要なと思われる方法



【その他】

- ・現状の公共施設（個別）収支等、データが無いのでコメントできない。（40代・男・北永井）
- ・施設利用できる時間、日にちを効率よく増やす。ボランティアの利用による給与の削減。利用者の少ない時間帯を休憩とし、パートタイムで働く。（40代・女・藤久保）
- ・3ヶ月、6ヶ月単位で賃借する。あきずに楽しいので、人が集まる。利用者も増えると思う。（50代・女・上富）
- ・企業の誘致。
- ・負担増は、常識の範囲内で。施設売却は、重複しているものがあれば。（70代・男・みよし台）
- ・利用が少ないところは、施設を売る。（70代・男・藤久保）
- ・複合化については、老朽化した施設。（50代・女・北永井）